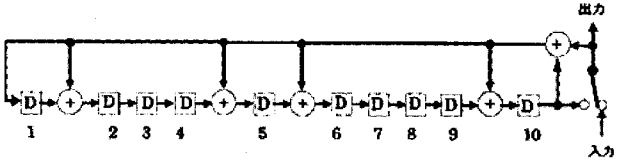
7　地震動警報詳細情報は、地震動警報情報の詳細を伝送するために使用する領域とする。その構成は、信号識別が地震動警報詳細情報又は地震動警報詳細情報の試験信号を表す場合は別表第２、詳細情報なしを表す場合は別表第３のとおりとし、未定義を表す場合は全て‘１’とする。

8　ＣＲＣは、B_{21}～B_{111}を用いて、次に示す生成多項式により生成されるものとし、次の回路の各レジスタの初期値は、‘０’とする。

符号化生成多項式：ｇ（ｘ）＝$x^{10}+x^9+x^5+x^4+x+1$



D：１ビット遅延素子を表す。

⊕：排他的論理和の演算素子を表す。

9　パリティビットは、B_{17}～B_{121}を用いて、差集合巡回符号（273，191）の短縮符号（187,105）により生成されるものとする。ここで、差集合巡回符号（273，191）の生成多項式は、次のとおりとする。

符号化生成多項式：ｇ（ｘ）＝$x^{82}+x^{77}+x^{76}+x^{71}+x^{67}+x^{66}+x^{56}+x^{52}+x^{48}+x^{40}+x^{36}+x^{34}+x^{24}+x^{22}+x^{18}+x^{10}+x^4+1$

3　デジタル放送の標準方式別表第23号の２の表B_4～B_{208}の項に掲げる地域の防災・安全情報の構成は、次のとおりとする。

B_4～B_{16}	B_{17}～B_{18}	B_{19}～B_{20}	B_{21}～B_{23}	B_{24}～B_{111}	B_{112}～B_{121}	B_{122}～B_{208}
同期信号	開始／終了フラグ	更新フラグ	信号識別	地域の防災・安全詳細情報	ＣＲＣ	パリティビット
13	2	2	3	88	10	82

注１　単位の指定のない数字は、その領域のビット数を示す。

２　‘　’で囲まれた数字は、２進数とする。

３　同期信号は、デジタル放送の標準方式別表第11号に定める同期信号の下位13ビットと同一の値をとるものとする。

４　開始／終了フラグは、信号識別が地域の防災・安全詳細情報又は地域の防災・安全詳細情報の試験信号を表す場合は‘00’とし、詳細情報なしを表す場合は‘11’とする。

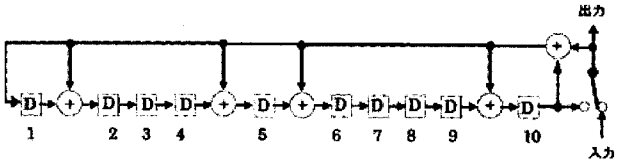
５　更新フラグは、開始／終了フラグが‘00’の場合は‘00’を開始値とし、伝送される一の地震動警報詳細情報又は地域の防災・安全詳細情報の内容に変更が生じるごとに１ずつ増加するもの（ただし、‘11’の次は‘00’に戻るものとする。）とし、開始／終了フラグが‘11’の場合は‘11’とする。

６　信号識別は、地震動警報詳細情報又は地域の防災・安全詳細情報の種別を識別するために使用する領域とし、その割当ては、別表第４のとおりとする。

７　地域の防災・安全詳細情報は、地域の防災・安全情報の詳細を伝送するために使用する領域とする。その構成は、信号識別が地域の防災・安全詳細情報又は地域の防災・安全詳細情報の試験信号を表す場合は別表第５、詳細情報なしを表す場合は別表第３のとおりとし、未定義を表す場合は全て‘１’とする。

８　ＣＲＣは、B_{21}～B_{111}を用いて、次に示す生成多項式により生成されるものとし、次の回路の各レジスタの初期値は、‘０’とする。

符号化生成多項式：ｇ（ｘ）＝$x^{10}+x^9+x^5+x^4+x+1$



D：１ビット遅延素子を表す。

⊕：排他的論理和の演算素子を表す。

9　パリティビットは、B_{17}～B_{121}を用いて、差集合巡回符号（273，191）の短縮符号（187,105）により生成されるものとする。ここで、差集合巡回符号（273，191）の生成多項式は、次のとおりとする。

符号化生成多項式：ｇ（ｘ）＝$x^{82}+x^{77}+x^{76}+x^{71}+x^{67}+x^{66}+x^{56}+x^{52}+x^{48}+x^{40}+x^{36}+x^{34}+x^{24}+x^{23}+x^{18}+x^{10}+x^4+1$

別表第１　信号識別（デジタル放送の標準方式第３章及び第４章第２節に定める放送に関するものに限る。）

B_{21}～B_{23}	意　味
000	地震動警報詳細情報（該当地域あり）
001	地震動警報詳細情報（該当地域なし）
010	地震動警報詳細情報の試験信号（該当地域あり）
011	地震動警報詳細情報の試験信号（該当地域なし）
100	未定義
101	
110	
111	地震動警報詳細情報なし

注　該当地域ありは放送区域内に地震動警報の対象地域があることを、該当地域なしは放送区域内に地震動警報の対象地域がないことをいう。

別表第２　信号識別が地震動警報詳細情報又は地震動警報詳細情報の試験信号を表す場合の地震動警報詳細情報の構成

B_{24}～B_{54}	B_{55}	B_{56}～B_{111}
現在時刻	ページ種別	地震動情報
31	1	56

注１　単位の指定のない数字は、その領域のビット数を示す。

２　‘　’で囲まれた数字は、２進数とする。

３　現在時刻は、地震動警報情報を送出する現在時刻を表すために使用する領域とする。

４　ページ種別は、地震動警報の対象となる地震動に関する情報（以下「地震動情報」という。）の種別を識別するために使用する領域とする。

５　地震動情報は、ページ種別が‘０’の場合はその割当ては別記第１のとおりとし、ページ種別が‘１’の場合はその割当ては別記第２のとおりとする。

別記第１　ページ種別が‘０’の場合の地震動情報

地震動情報は、地震動警報の対象地域を示す領域とする。その構成は、地震動警報の対象地域を含む地域に割り当てられるビットは‘０’、地震動警報の対象地域を含まない地域に割り当てられるビットは‘１’とし、地震動情報を送出しない場合は全て‘１’とする。